

## 持続的な成長に向けて

新たな発展に向けて踏み出すにあたり、

中期経営計画GG Plan (2007-2008年度)は

足元をしっかり固めるステージと位置づけ、

「コア・ビジネスの徹底強化・拡充による

真に強固な収益基盤の確立」と

「持続的な成長に向けた経営のクオリティ・アップ」に

取り組んでいます。

## 住友商事の原点

住友商事の経営理念・行動指針のベースとなっているものは、「住友の事業精神」です。

住友の事業精神は、「信用・確実」「浮利を追わず」「時代を先取る進取の精神」といった事業活動を行う上での根本、そしていつの時代にも普遍的な価値観を謳っています。

### 経営理念・行動指針

住友商事は1998年に、「住友の事業精神」をより今日的な視点から平易な言葉に再整理し、グローバルに事業を展開する企業としてふさわしい表現を取り入れた「住友商事グループの経営理念・行動指針」を制定しました。この経営理念を踏まえながら、日常業務を遂行する上でのガイドラインを定めているのが行動指針です。

住友商事は、経営理念と行動指針を、グループの全ての役職員により一層共有し、これを事業活動において実践していくことによって、「広く社会に貢献するグローバルな企業グループ」を目指します。

### SC VALUES

SC VALUESは、経営理念・行動指針に謳われている価値観を役職員が共有し、実践していくために、より具体的な表現でまとめたものです。SC VALUESは、人材育成・人事考課や多面観察制度(部下が上司を観察し、上司の気づきの機会としているもの)でも活用されています。

#### 住友商事グループの経営理念・行動指針

私たちは、常に変化を先取りして新たな価値を創造し、広く社会に貢献するグローバルな企業グループを目指します。

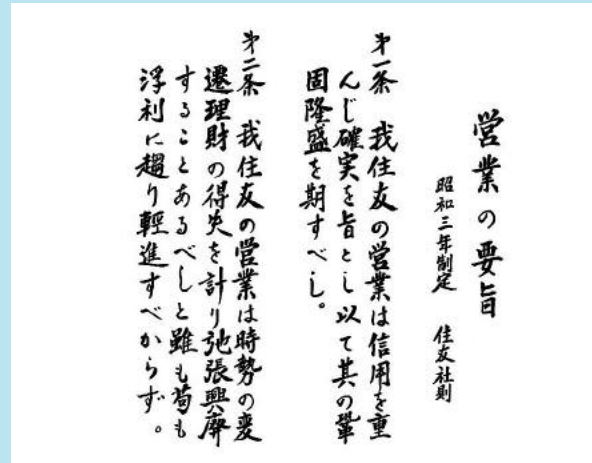
#### 経営理念

- ・健全な事業活動を通じて豊かさや夢を実現する。
- ・人間尊重を基本とし、信用を重んじ確実を旨とする。
- ・活力に溢れ、革新を生み出す企業風土を醸成する。

#### 行動指針

- ・住友の事業精神のもと、経営理念に従い、誠実に行動する。
- ・法と規則を守り、高潔な倫理を保持する。
- ・透明性を重視し、情報開示を積極的に行う。
- ・地球環境の保全に十分配慮する。
- ・良き企業市民として社会に貢献する。
- ・円滑なコミュニケーションを通じ、チームワークと総合力を発揮する。
- ・明確な目標を掲げ、情熱をもって実行する。

#### 住友の事業精神—「営業の要旨」



#### 第一条

我住友の営業は信用を重んじ確実を旨とし以て其の鞏固隆盛を期すべし。

#### 第二条

我住友の営業は時勢の変遷理財の得失を計り弛張興廃することあるべしと雖も苟も浮利に趨り軽進すべからず。

### SC VALUES

- 1. 信用・確実:**  
法と規則を守り、高潔な倫理を保持する。
- 2. 総合力:**  
組織に壁をつくらず、常に全社的視野をもって行動する。
- 3. ビジョン:**  
明確なビジョンを掲げ、それをメンバーに伝え共有する。
- 4. 変革マインド:**  
多様な価値観と行動様式を受容し、変化をチャンスと捉え行動する。
- 5. コミットメント・自責:**  
組織目標に向かって、責任をもって主体的に行動する。
- 6. 情熱:**  
情熱・自信をもって行動し、メンバーに活力を与える。
- 7. スピード:**  
迅速に決断し、行動する。
- 8. 人材開発:**  
メンバーの能力開発を最大限に支援する。
- 9. プロフェッショナル:**  
高度な専門性・スキルを有する。

## リスク・リターン経営

住友商事は、「リスク・リターン」という経営指標を用いて、事業の選択と集中を行い、収益基盤を強化しています。

リスク・リターンは、多岐にわたる総合商社のビジネスの収益性を計る全社共通のモノサシで、定量化したビジネスリスクに対するリターン(収益)の割合と定義しています。

1998年に導入し、1999年の「改革パッケージ」以来、事業の選択と集中、資産の入替に継続的に取り組んできた結果、住友商事の収益力・収益性は着実に向上しています。

2008年度に終了するGG Planでは、リスク・リターンは株主資本コスト(リスク・リターン7.5%)を大きく超え、17.3%に向上する見通しです。

リスク・リターン(%) = 純利益 ÷ リスクアセット

リスクアセット：当該事業のリスクが現実のものとなった場合に生じる最大損失可能性額

